



NPO法人 くにたち農園の会 10周年記念展示

NPO法人 くにたち農園の会

©国立市観光まちづくり協会承認★2606-4

駅舎で知ろう！

1000年 続く国立の田んぼ



国立・谷保に広がる田んぼ

縄文の昔から人々が集い、府中用水と湧き水が育んだ谷保の田んぼ。

本展示では、谷保の農業用水を守り、農業技術と共に未来へ残すための人材やコミュニティを育てる「東京まんなか水田 やばたん」や、今では希少なトウキョウダルマガエルを守る「カエル里親プロジェクト」、都市の農地と市民をつなぐ「NPO法人 くにたち農園の会」の活動を紹介しています。

入場無料

会場 旧国立駅舎 展示室

日程 8月7日(金)～8月13日(木)

時間 平日 10:00～19:00
※最終日は16:00まで

土日祝 9:00～19:00



★ トークショー開催

8/8(土) 10:30～/16:00～

くにたちの水田と
希少生物保全へのまちづくり
トウキョウダルマガエルの実物など、谷保の生き物を見ながらの紹介も。

8/9(日) 10:30～/16:00～

くにたち藍染 実演&トーク
★8/9のみ 染色作品の販売あり
国立産の藍を使用し昔ながらの染色法で染める「くにたち藍染」とは？熟練の技術による実演を交えて解説。

8/11(火・祝) 10:30～/16:00～

1000年つづく国立の田んぼ
1000年前から守られてきた環境、生物多様性、地域の農家によって代々培われた農業技術。令和のいまだからこそ語りたい！



【主催】NPO法人 くにたち農園の会

東京都国立市谷保5119 やばろじ内（事務局）

TEL：042-505-7200

kunitachinouen@gmail.com



イベントページ



団体ページ

イベントの見どころ・くわしい内容

NPO法人くにたち農園の会 10周年記念展示

くにたち農園の会について

国立市谷保を拠点に、「農と子育て」を主軸として活動するNPO法人。2026年に10周年を迎えます。貴重な田畑や自然環境を守りながら、年間を通じた田畑の体験やくにたち藍染などのクラフト体験、ゲストハウス、コミュニティ農園の運営を行う。また不登校支援・地域子育て支援拠点・認定こども園・放課後クラブ・森のようちえん等による子育て支援事業も展開。都市の農地と市民をつなげる活動を続けています。

谷保（やほ）の環境について

国立市南部の谷保には、湧き水と用水路に育まれた田んぼが今も残り、1000年以上にわたって米づくりが続いてきました。トウキョウダルマガエルやオオタカなど多様な生きものが暮らす、東京では希少な里地里山の風景があります。会では、この田園風景を次の世代へつなぐため、保全活動と生態調査を続けています。



準絶滅危惧種の
トウキョウダルマガエル

展示の内容

● くにたち農園の会の活動紹介・動画上映

くにたちはたけんぼ、暮らしのアトリエ藍と土、ゲストハウスここたまや、地域子育て支援拠点つちのこひろば、認定こども園かえるの森の5つの拠点で10の事業を展開するくにたち農園の会の活動を紹介します。

● 谷保エリアの生態調査の成果展示 (協力：東京都市大学)

● くにたち藍染・草木染め作品展

「くにたち藍染」＝くにたち産の藍で染めた藍染。
「暮らしのアトリエ藍と土」で制作した草木染めの作品展。9日(日)のみ手ぬぐいなどの販売あり

● 国立の都市農業と「田んぼの一年」

トークショー 各日10:30～／16:00～

8/8(土)

小野 淳 (副理事長)



くにたちの水田と
希少生物保全へのまちづくり

8/9(日)

安齋 亜由美 (暮らしのアトリエ 藍と土)



くにたち藍染 実演&トーク
文化財「日本田家住宅」隣接の「暮らしのアトリエ 藍と土」について、歴史も交えて話します

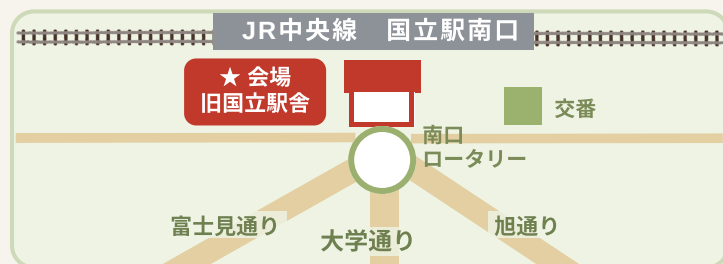
8/11(火・祝)

武藤 芳暉 (理事長)



1000年つづく国立の田んぼ
谷保の農業の歴史と、都市農業の未来とは

会場アクセス | 旧国立駅舎



JR中央線「国立駅」南口を出てすぐ正面、赤い三角屋根の建物です。

〒186-0002 東京都国立市東1-1-69

※ 駐車場はありません。

公共交通機関でお越しください。



くわしくは特設ページへ

最新の時間・内容はこちらでご案内します。



イベント情報